

今日のトピック 最近の指標から見るインド経済(2015年7月)

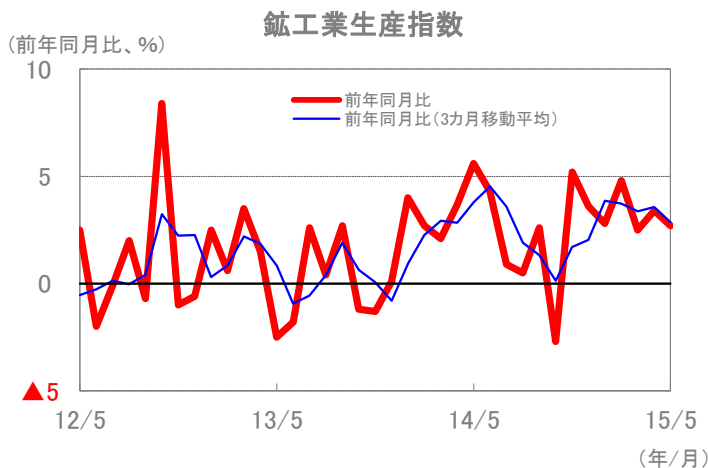
利下げや構造改革の効果に期待

ポイント1 利下げなどから生産は堅調

企業景況感良好

■5月の鉱工業生産指数は前年同月比+2.7%と前月の同+3.4%(改定値)から低下したものの、年3%前後の拡大基調を維持しています。インド準備銀行(中央銀行、RBI)による利下げやモディ政権の構造改革が下支えとなり、生産は底堅く推移しています。

■6月の製造業PMI(購買担当者指数)は51.3と、前月の52.6から低下したものの、好不況の境目の50.0を引き続き上回り、企業景況感良好です。



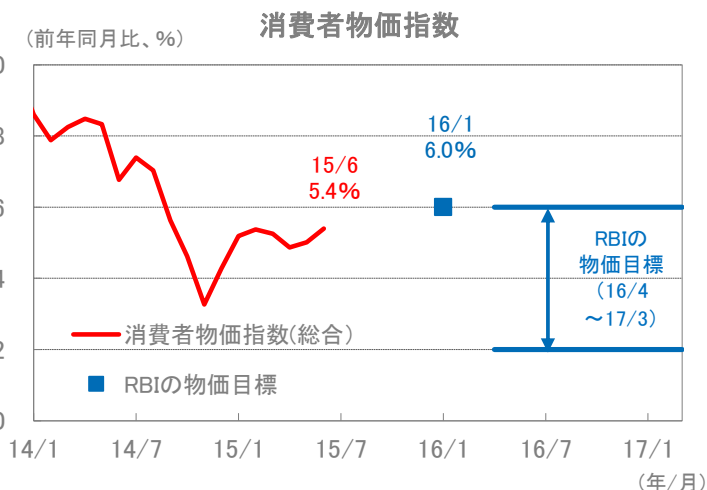
ポイント2 食品が物価を小幅押し上げ

降雨量の推移が追加利下げのカギ

■RBIは、6月の会合で物価の落ち着きなどを考慮し、政策金利(レポ金利)を0.25%引き下げ、7.25%としました。

■6月の消費者物価指数は前年同月比+5.4%と、RBIの2016年1月の物価目標(同+6.0%)を引き続き下回りましたが、前月(同+5.0%)から上昇しました。豆類が同+22.2%となるなど、食品価格が全体を押し上げました。

■RBIは、食品価格に影響する降雨量の推移を注目しています。気象庁によると6月1日から7月8日までの降雨量は累計で平年を4%下回っていますが、今後降雨量が増え、野菜などの作柄や物価への懸念が薄らぐ場合には、RBIが次回会合(8月4日)に追加利下げを行いやすくなります。



今後の展開 景気拡大と、構造改革進展への期待がインドルピーの下支えに

■追加利下げ期待が高まると、ルピー安が警戒されますが、底堅い景気に勢いが増すとの見方が広がれば、ルピーの上昇要因になります。

■次期国会(7月21日～8月13日の予定)では、物品・サービス税(GST)導入や土地収用法などが審議される見込みです。これらの成立による海外からの投資増、ルピー高効果も期待されます。

ここも チェック!

2015年07月07日 「国際収支」改善がルピーの強みに(インド)
2015年06月24日 「モンスーン」と利下げの関係(インド)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。